

よらねかた 小合

地域の人口動態

平成26年7月末現在	
世帯数	1,205戸
男	1,890名
女	2,010名
人口	3,900名

2014.9.16 第41号 小合地域コミュニティ協議会

発行責任者：四柳健二 編集：総務部



**新津松坂流しに参加して
「花の小合」を
アピールしました。**

八月十七日(日)雨天で開催が
1日延期となりましたが、新津の
夏の風物詩、新津松坂流しに今年
も参加しました。小合コミ協で作
製した赤いはつぴを着て総勢三十
六人の小合の踊り子が元気に踊
りました。

『新津松坂流し』についての記事
は3面に掲載しました。

新連載：小合の歴史研究

第二回

日本で初めてチューリップの球根栽培に成功した

『小田喜平多』(おだきへいた) (一八七八〜一九四六)

私たちの住む小合の歴史を調べなおして
偉大な業績や、ふるさとの誇り、宝物を
再発見してみましよう。



【一】小合地区の「出戸」に小田喜平多は、明治十一年(一八七八)に生まれました。父が亡くなった後、若くして園芸種苗業を営んでいましたが、チューリップの栽培に生涯をかけ、日本で最初のチューリップ球根の生産に成功しました。

トルコの花、チューリップが初めて日本に入ってきたのは文久三年(一八六三)のことといわれ、フランスからの幕府の使節団が球根を持ち帰ったとされる。その後は、業者が輸入したり、栽培法が記述された本が出版されたりしました。

新潟県に入ってきたのは明治三十七年(一九〇四)ころで、越路町の水島義郎がチューリップを試作し、開花させました。小田は、当時流行っていた紫金牛(ヤブコウジ)：(ヤブコウジは投機の対象になっていた)や、ボタンをシヤクヤク台木に次ぐ方法が考案されていたので、それらを中心に生産していました。大正七年(一九一八)小田は、新しい花、チューリップに心をひかれて試作を始めました。

大正八年、視察に訪れた中

蒲原郡役所の小山重技手の熱心な激励を受けてチューリップの球根生産をすることを決意しました。

小田は、「この事業を当地方の産業とするべく固く決意をして、当時盛んだったヤブコウジを全部土中に埋没する」の意気込みで「小山重技手に依頼してオランダから種球を購入。約五百平方メートルの畑に植え、本格的に球根生産に組みました。ところが、翌年には、横浜から仕入れたチューリップに、ウイルス病が多発して球根生産は失敗しましたが、これにくじけることなくチューリップ栽培とその普及に努め、つい小合園芸組合の設立に参画し、大正十一年には、小田が参画して、中蒲原郡花き球根組合が設立され、チューリップ球根生産は小合から中蒲原郡に普及していききました。

チューリップの球根栽培は他にも多数の人たちの協力で大成功しました。

【二】小合地区には、チューリップ球根生産の発祥を示す記念碑

その一つは、昭和六十三年、川根に建設された「花木総合センター」(現、花夢里)の敷地内に平成元年四月に「日本チューリップ発祥の記念碑」が当時の斉藤富雄新津市長ら有志によつて建立されました。この記念碑は、川根のこの場所が発祥地というのではなく、碑文にもあるように新津市が発祥地であることが記されています。

もう一つ、出戸にある喜平太の生家敷地内には、昭和五十年代に新津市により建立された「新潟県チューリップ発祥の地」の木柱があります。実際に球根を植付けた場所は、小田喜平太の圃場がある信濃川堤外地であると考えられます。

小合は、日本のチューリップ球根生産発祥の地なのです。(総務部、YI)

【参考文献】
「郷土再発見ふるさとの誇り百話」
…編集事務局

小合地域担当 地域包括支援センター の紹介

高齢者の相談窓口

新潟市地域包括支援センターでございます
新潟市より委託を受けている、
『高齢者に関するなんでも相談
窓口』です。

高齢になっても、住み慣れた地域
で安心して暮らしていけるよう、
様々な制度や資源と高齢者をつ
なぐ仕事をしています。

○相談はご本人やご家族、地域の
方など、どなたからでもよろしい
です。

○相談は無料で、秘密は守られ
ます。ご自宅に訪問も致します。

お気軽にご相談下さい



野崎
片桐
曾我

池田
新井
伊藤

新潟市地域包括支援

センター

電話 0250(6)1-1895

【福祉懇談会開催】

七月五日(土)「ミセン集会所

第二期地域福祉計画

第二期地域福祉活動計画

について話し合いました。

秋葉区健康福祉課と同社会福
祉協議会主催による「福祉懇談
会」が小合コミセンで開かれました。
新潟市は、五年前(平成二十一年)に
「地域福祉計画・地域福祉活動計
画」を策定し、これに基づいて活動
してきました。

この度、平成二十七年からの第
二期地域福祉計画・地域福祉活動
計画策定のため、話し合いを、二回
に分けて開催することとして、七月
五日に第一回目が開催され、地域が
抱える問題について話し合いました。

当日出席した団体は、町内会長
会、老人クラブ、民生委員、小合地
区(小・中)学校三校、各学校PTA、
地区社協、コミ協役員、他関係者で
す。九月九日に第二回目を開催し
ました。



お茶の間の 話題「一十一」

全国の神社の数を
神社におまつりしている神さまは?

(1) 全国にある神社の数

全国の神社数は約八万二千社で、人口十万人あたり約六十社の計算
になります。全国で最も神社が多いのは高知県で、人口十万人あたり約一
百八十社。全国平均の4.5倍という多さです。二位以下の県は福井、富山、
新潟と続いており、新潟県は全国で四番目に神社が多い県です。

一方、最も少ないのは沖縄県で人口十万人あたり約二社。県全体でも十
三社と際だつて少ない。歴史的な経緯もあり、本土とのつながりが深い神
社が受け入れられていないと思われる。この他では大阪府や東京都、神奈
川県、埼玉県など都市部で神社が少ない。

(2) 神社に、おまつりされている神様

全国で数の多い神社のうち、その神社におまつりされている神さまを
見てみると

- 神明さま(神明宮) お稻荷さま(稲荷宮)
- 八幡さま(八幡宮) 天神さま(天神宮)
- 住吉さま(住吉宮) お諏訪さま(諏訪宮)

小合地域にある神社におまつりされている神様について紹介します。

【神明さま】：一般にいう神明さまは、伊勢の神宮でまつられている天照大御
神(アマテラスオオカミ)を各地におまつりする神社です。

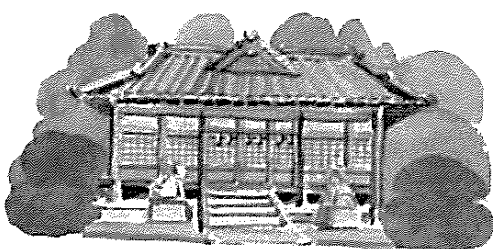
【お諏訪さま】：お諏訪さまは、建御名方神(たけみなかたのかみ)をおまつ
りする神様です。『古事記』によると、大国主命(おおくにぬしのみこと)の御
子神である建御名方神は、天孫降臨に先立ち國譲りの交渉にやってきた建
御雷神(たけみかづちのかみ)との力競べに負けて敗走し、信濃国の洲羽海
(すわのうみ)現在の諏訪湖に追いつめられ降参しました。その諏訪の地に
まつられたのが諏訪大社です。

【八幡さま】：八幡さまは、応神天皇(第十五代天皇)神功皇后をはじめと
する神さまたちをおまつりする神社です。京都府の石清水八幡宮では源義
家が元服をし、「八幡太郎」と称するなど源氏の篤い崇敬を受けました。さ
らに源頼朝により鎌倉幕府が開かれてからは、鶴岡八幡宮への信仰が高まり、
武家の守護神として各地にお祭りされるようになったのです。

(参考) 神社本庁ホームページより

【小合地区にある神社】

- ・大鹿・・・諏訪宮
 - ・栗宮・・・神明宮
 - ・小戸上組・・・八幡宮
 - ・小戸下組・・・八幡宮
 - ・小屋場・・・神明宮
 - ・梅の木・・・諏訪宮
 - ・浦興野・・・神明宮
 - ・出戸・・・諏訪宮
 - ・子成場・・・北山神社
 - ・四ツ興野・・・神明宮
 - ・蕨曾根・・・諏訪宮
 - ・大秋・・・諏訪宮
 - ・野方・・・八幡宮
 - ・川根・・・神明宮
- (小合コミ協総務部、調査)



♡そろいの法被ハッピで新津松坂流しに参加♡

『新津松坂流し』に参加して

小合コミ協副会長 田村 由美子

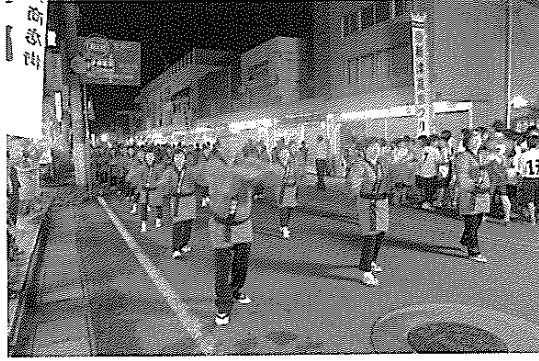
「民謡を踊りたい」と踊り好きな人が集まって、昨年二回目の「新津松坂流し」に参加しました。新津松坂協会のご指導を受け、町内会の浴衣を借りての参加でした。「昔、よく踊ったのね。」「年には勝てない」と言いながら、一時間余りを楽しみながら心地良い汗を流しました。

今年、四月より準備をはじめ、秋葉区の伝統芸能を守りながら、小合地域のPRをしたいと、コミ協で、赤い法被とはち巻を新調し、「花のふるさと小合」「小合地域コミュニティ協議会」と書き入れしてもらいました。月一回練習し、又優雅で美しく踊りたいと、八月には、再び松坂協会から細かいところまで指導を受けました。

踊れば踊るほど難しく、しかし皆真剣な眼差しで、踊り方を身につけました。

松坂流しの当日は雨で、翌日に順延されたのが、36名の大勢の方から参加してもらい、堂々と目ぬき通りを踊りぬきました。踊り方も去年とは、うって変わって優雅に舞うことが出来ました。「赤い法被も、夜に映えてとても良かったよ」と多くの方からお褒めの言葉もいただきました。来年は、もつと多くの方と一緒に踊りたいと言う声も聞かれました。

小合の皆様、来年はぜひ一緒に踊りませんか。最後に、新津松坂協会の皆様のご指導ありがとうございました。またコミ協総務部の方々のお骨折りで実施できましたことを感謝いたします。



専門部の活動より

ソフトバレー ボール大会

(6月開催)

六月二十二日(日)小合中体育館
【保健体育部】

恒例の小合地区ソフトバレーボール大会が開催され、地域代表の十一チームが熱戦を繰り広げました。

【入賞チーム】

- 一位・・・マロン
- 二位・・・サンクス
- 三位・・・ピック3
- 四位・・・大鹿(一)

尚、本年度の第二回目を、十月十九日(日)に開催する予定です。今回出場できなかった地域の方も是非出場をお願いします。

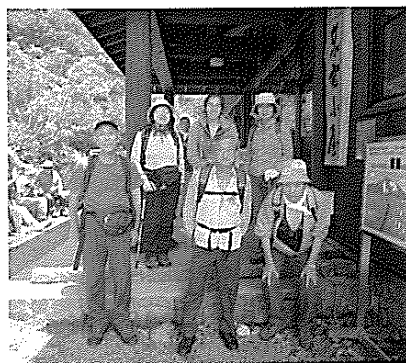


尾瀬ヶ原、「保健体育部」 健康ウォーク

平成二十六年七月十二日
日帰り

♪夏が来れば思い出す…
遙かな尾瀬…♪

秋葉区民ハイキングに、小合から6名が参加してきました。運よく天候に恵まれ、念願のニッコウキスゲを見ることができました。



ニッコウキスゲを満喫!

第一回

お役立ち講座開催される 「福祉厚生部」

『初めての車いすの』

選び方・使い方』

平成二十六年七月十三日(日)

高齢化社会や福祉厚生に関する様々な課題に対応するとともに、地域の皆様の「こころ豊かな生活づくり」に向け、今年度から新しく「お役立ち講座」を開催することになりました。

今回は、秋葉区社会福祉協議会とデイサービスセンターから四名の講師をお招きし、車いすの操作方法や、介助の仕方などを実際に体験しました。

参加者約四十名の皆様で十一台の車いすを使用し、二名組となつて介助する人、される人と立場を交代しながら、車いすを押したり乗ったり楽しく学習することが出



来ました。

殆どの方が、初めての車いすですが、参加者からは「今までで速気味だった車いすが身近に感じられるようになった」「介助する人もされる人も安心して気持ちよくいられるためには、一言声かけをするなど、お互いの思いやりが大切であることが分かった」などの感想をいただきました。

たとえ身体が不自由であっても、車いすを使うことにより行動範囲が広がり、立派に社会参加が可能になるということを実感できたとても有意義な講座でした。

自分自身や家族、そして地域の誰もが、いつお世話になるかも知れない「車いす」。

家庭や地域などより多くの皆様にも「車いす」のことを知っていただければ幸いです。

第一回

花の講座 「文化教養部」

レカンフラワーを満喫

「押し花」ではせつかくの美しい花がつぶれてしまう。「ドライフラワー」では自然の色でなくなる。新しいフラワーアートの世界を追求する村上市のフラワーアートデザイナーの高橋由美子氏を迎え、文化教養部主催の第一回花の講座「レカンフラワー講座」が七月五日、コミユニティセンター集會室で開催された。

レカンとはフランス語で「宝石箱」のこと。乾燥させた花を、フレームに密閉して飾る。

小合地区から採取した、クリスマスローズやバラ、多くの花にあふれた集會室で、講座がはじまった。「花が綺麗で、可愛くて、思わず詰め込みたくなる。」

「フレームに詰め込みすぎた。」

「花が生きているようだ。」

「花が、可愛くて、弱くて、壊れそう。」

「乾燥していてびっくりました。」

「以前から興味があった。」

と参加者は感想を語る。小合の花を使ったレカンフラワーの美しさに酔いしれ、花の力が伝わってくるポタニクアートの世界を体験した。

次回「花の講座」もお楽しみに！



コミ協専門部の活動計画！（あるんだと小合）

第二回 花の講座

秋の草花で
寄せ植え教室

9月20日(土曜)

PM・1時30分

コミセン集會室
参加費：千円
(定員あり)

申込みは9月13日まで

弥彦山登山
健康ウォーク

9月27日(土曜)

AM・8時15分

小合コミセン集會

申込みは9月21日までに

小合地区
ソフトバレーボール大会

(十月開催)

10月19日(日曜)午前

・詳細については、後日

「回覧板」で連絡致します

◇編集後記◇

天高く馬肥ゆる秋

暑く、台風及び土砂災害が多く発生した夏も終わり、収穫の秋となりました。

今年災害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。もうこれ以上、災害の無い一年であることをお祈りします。

【総務部】